

住民主体の避難所開設を 訓練～発災時までサポート

自治体 避難所ご担当者様

避難所開設支援アプリ

N-HOPSのご案内



n-hopsTM

熟練者を増やす訓練から、誰でも動ける訓練にしませんか？

私たちはこれまでに**約150自治体**への
ヒアリング・訓練見学を行ってきました

多くの自治体では、職員・地域住民の**防災意識向上**、防災士
資格の取得支援、訓練による**熟練者の育成**など、着実な取り
組みが進められていました。

しかし一方で、地域組織の希薄化や高齢化、人材のなり手不
足など、複合的な要因により訓練参加者を定着させることが難し
く、「**従来の取り組みだけでは限界**を感じている」という声も多く
聞かれます。

この課題に対して、私たちは、これまでの訓練とは異なった角度で
アプローチしていきたいと考えています。

訓練から災害時まで、避難所開設・運営行動の必要な作業を
誰もが実施できる環境を支援します。

アプリ×訓練で、地域の誰もが支え合える仕組みへ



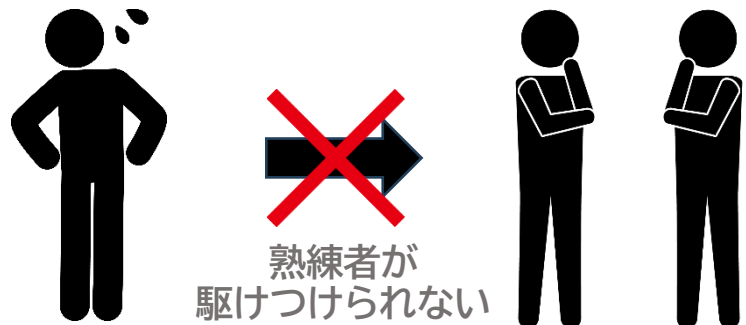
Before

訓練

参加者主体の訓練ができていない
実践的な訓練ができていない
引継ぎ・ノウハウの蓄積ができていない

発災時

経験者・熟練者がいないと開設できない



After

訓練

参加者が主体的に行動できる
実践的な訓練を容易に実施できる
ノウハウがアプリ上に蓄積できる

発災時

アプリの指示に従って誰もが開設可能！
進捗・状況をリアルタイムで監視可能！



※オフライン状態での利用・紙ベースでの利用も可能

01

見やすく、すぐに動ける
支援ガイド

紙マニュアルを独自の
支援ガイドに変換。
誰でも迷わず動ける操
作体験を提供します。



02

スマホ1台で、即利用可能

アプリのインストールは
不要。URLにアクセス
するだけで誰でもすぐに
使えます。



03

オフラインでも使える安心設計

一度ダウンロードを実
施すれば、電波が無く
ても利用可能です。
(PWAを採用)



04

訓練の記録を自動で集計・
見える化へ

訓練の実施回数を自
動で記録し、棒グラフ
で可視化しますので、
振り返りや報告に活用
できます。



05

編集機能を標準搭載
希望に応じて代行対応（有償）

支援ガイドはユーザー自
ら編集可能です。
ご希望に応じて作業代
行も承ります（有償）



N-HOPSの 5つの特徴

避難所開設支援アプリ

複雑なマニュアルの代替として
直感的・シンプルな情報を提供

「アプリってなんだか難しそう…」と思う方でも大丈夫

N-HOPSは、事前準備いらずのWebアプリで、誰でも簡単に訓練に参加できます

01

QRコードの読み取り

避難所に掲示されているQRコードを読み込み、N-HOPSを開始



02

ログイン

メールアドレスとパスワードを入力してログイン（ゲスト利用も可能）



03

実施項目を選択

表示された行動アイコンを選択し作業メニューを選択



04

作業の実施

表示された支援ガイドに沿って作業を実施します。

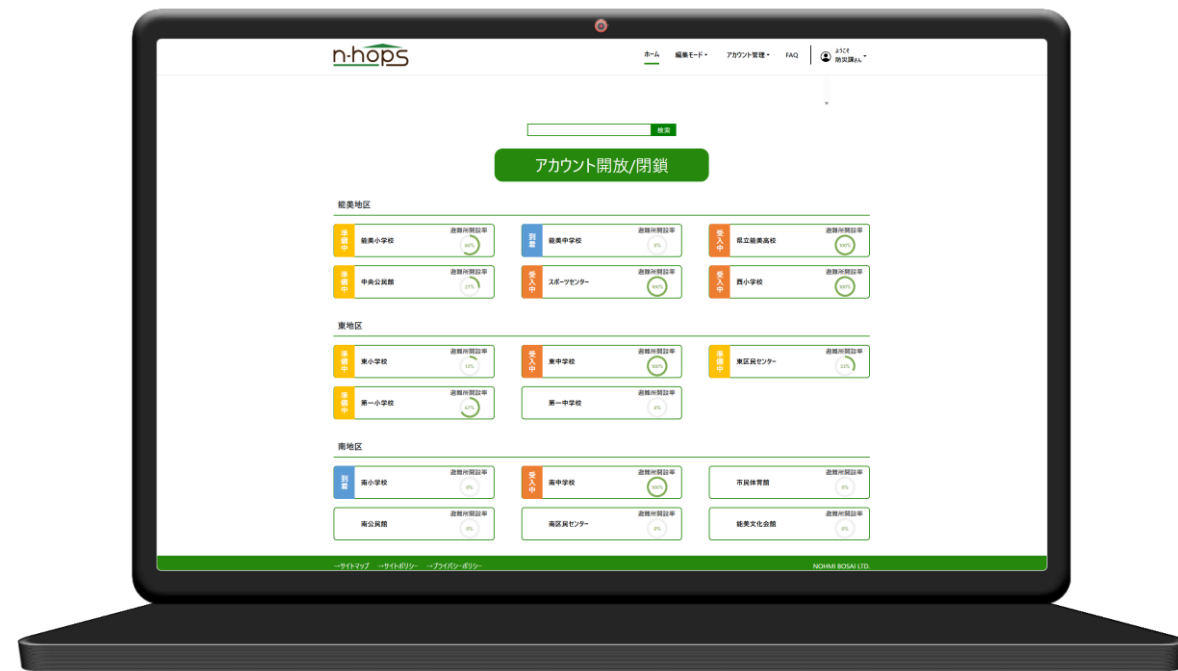




避難所



災害対策本部



避難所ごとに**具体的な作業支援**
アプリ上から**状況報告実施**

リアルタイムでの**避難所進捗監視**
報告の**受信・記録を一元化**、負荷低減₆

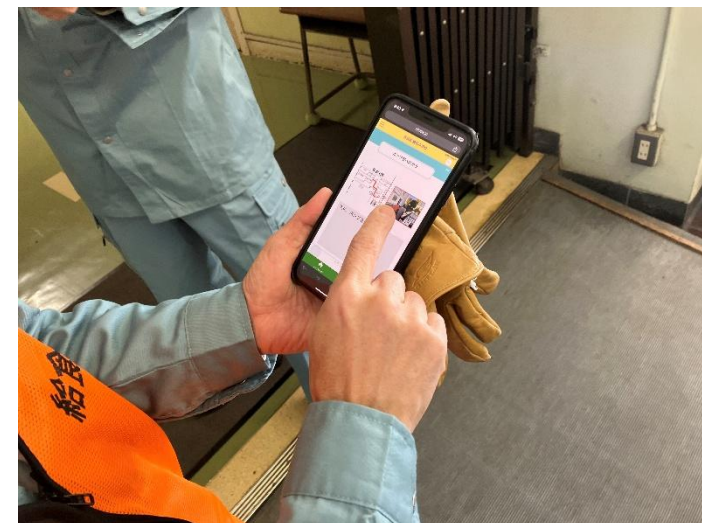
14自治体、計19回 (今後の予定含む、カッコ内の数字は実施数)

青森県

- 青森市

石川県

- 能美市(2)



東京都

- 渋谷区(3)
- 中野区(2)
- 足立区
- 千代田区
- 江東区
- 武蔵野市
- 江戸川区

埼玉県

- 春日部市
- 行田市
- 上尾市
- 熊谷市

千葉県

- 佐倉市(2)

石川県能美市

実施日：2025年10月

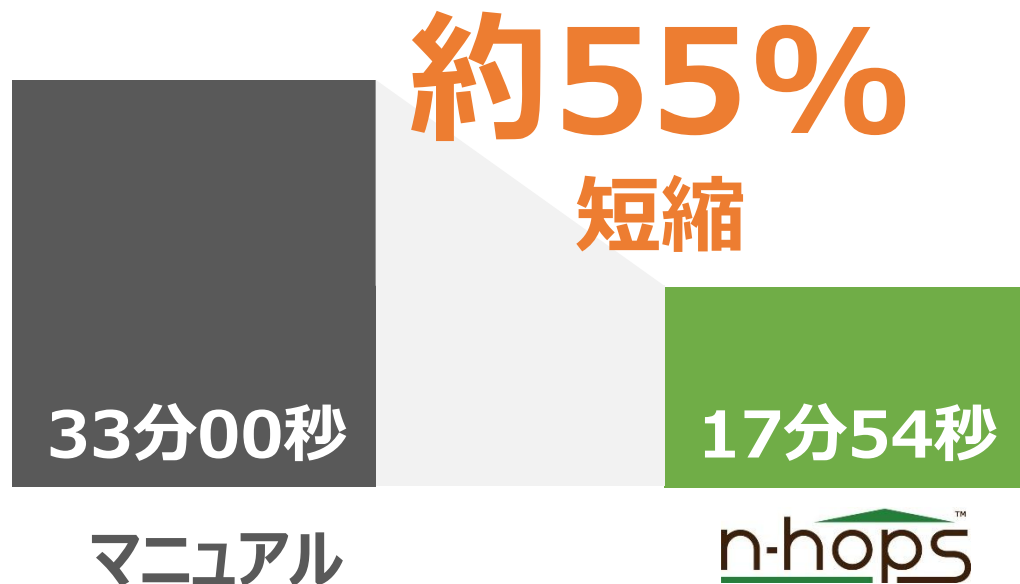
参加者：防災士資格を持つ地域住民

実施内容：N-HOPS活用した初動実地訓練

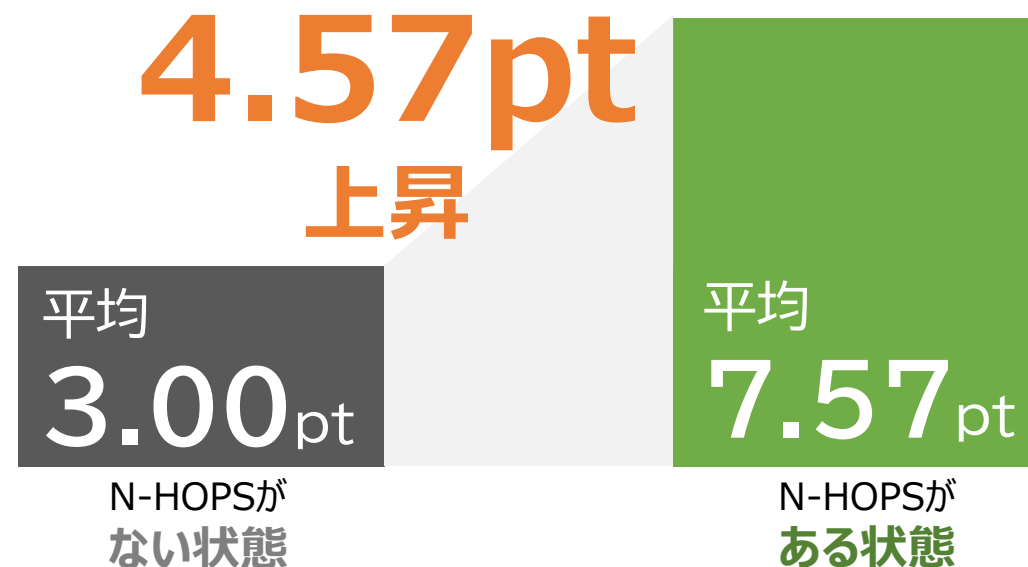
マニュアル活用とN-HOPS活用のパターンで一部の開設作業の比較を実施。
“受付設置～本部の設置～各種掲示物貼付”の作業を
マニュアルとN-HOPSの双方を活用して作業を実施し、行動比較を検証しました。



開設作業にかかった時間（一部作業）



避難所開設に対する自信（10段階評価）



トライアルの事例



東京都中野区

実施日：2025年9月

参加者：自主防災組織所属の地域住民

実施内容：N-HOPSを活用した図上訓練

【検証結果】

中野区では、訓練時の**実践的な訓練**の実施・発災時に**住民主体で避難所開設**を行いたいという課題がありました。

今回は図上訓練を実施し、N-HOPSの有効性を実感いただくことができました。

事後のアンケートでN-HOPSがない状態とある状態での避難所開設に対する「自信度」を調査したところ、

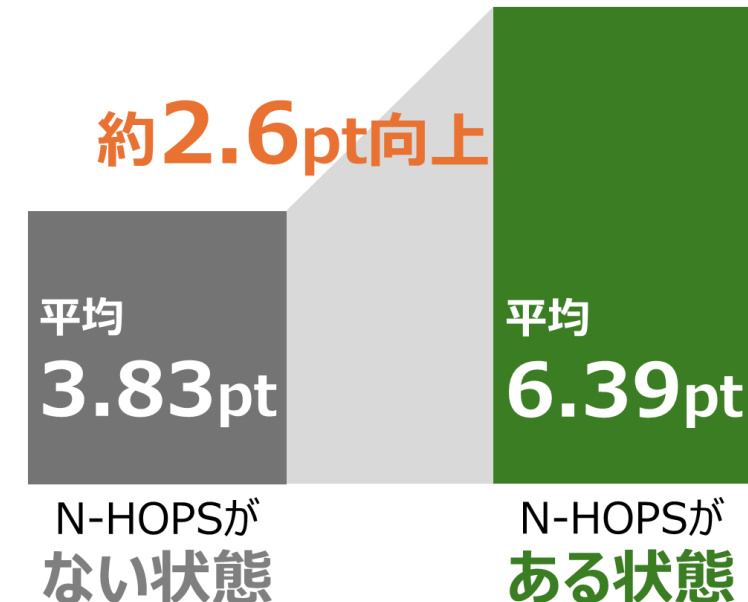
N-HOPSがない状態⇒3.83pt

N-HOPSがある状態⇒6.39pt

全体平均で**約2.6pt向上**する結果となりました。



避難所開設に対する自信度



トライアルの様子



千葉県佐倉市

実施日：2025年3月

参加者：自主防災組織所属の地域住民

実施内容：N-HOPS活用した初動実地訓練

【検証結果】

佐倉市では、訓練時の**職員負担の軽減**・発災時の**避難所開設の迅速化**が課題としてあげられていました。トライアルの結果、開設初期の行動をN-HOPSのみを頼りに**地域住民のみで実施する**ことができました。また、訓練後の振り返りでは、実際に行動したことによる気付きが多く上がり、N-HOPSの行動支援内容のブラッシュアップも行うことができました。



トライアルアンケート結果

図上訓練参加者の声



手順がわかりやすく、
やるべきことが明確になる。



誰でもアプリを見ることができ、
多くの人が作業に協力することができる。



皆で情報を共有でき、**開設手順をわかっている人がいなくても行動できる。**



操作が簡単。
内容もわかりやすく安心して行動できる。

実地訓練参加者の声



スマホ一つで開設手順を確認できるので
行動しやすかった。



実際に行動してみると、
変更箇所や修正箇所がわかるのが良い。



施設の地図や写真が表示されるので
初めてでも**迷わずに動ける。**



訓練をやっても忘れてしまうので、
いざという時にアプリがあるのは心強い。

N-HOPSは避難所開設/運営に対して、 新たなアプローチでより良い環境構築を支援するツールです

避難所開設/運営、訓練を完全にデジタル化するといった考えではありません。
これまで築き上げてきた関係性を活かしつつ、避難所開設/運営に対する主体者を幅広く取り込むことで、
より迅速で・確実な避難所開設/運営できる環境構築を支援していきます。

メールでのお問い合わせ

k-yamada@nohmi.co.jp

能美防災(株)総合企画室
担当:山田

お電話でのお問い合わせ

03-3265-0218

平日 9:00 ~ 17:30

能美防災(株)総合企画室
担当:山田、河野(こうの)